

鷹山公と論語の教え

米沢 コミュニケーション講座

米沢藩9代藩主上杉鷹山の教えと論語を掛け合わせ、他者への接し方や道徳心について学ぶコミュニケーション講座が29日、米沢市の置賜総合文化センターで開かれた。参加者は論語を素読しながら、先人たちの教えを学んだ。写真。



同市の市民講座「鷹山大学」の一環で、市内外から約10人が参加。日本能率協会コンサルティング(東京)の村上剛さん(51)が講師を務めた。鷹山は細井平洲を師として敬い、平洲が最高の徳と説いた「知恵・仁・勇氣」を大切にしたいと説明。民衆に対して愛と思いやりを持ち、「失敗を改めずに隠すことが本当の間違い」との姿勢で、誠実に向き合っていたと解説した。

参加者は論語と鷹山の教えを、子どもへの語りかけや家庭内コミュニケーションに生かす方法を学んだ。村上さんは「偉人が実践した論語の教えは道徳心の育成につながる。家庭でも活用してほしい」と話した。

(杉山みなみ)